

2024年11月8日 9時

天気 晴

水温 17.5°C

今日は 1895 年にレントゲンが X 線を発見した日。胸の X 線検診では 1 回の撮影で約 0.06mSv の線量を受けます。仮に毎日 1,500Bq/L のトリチウム水約 2 リットルを 1 年間飲み続けた場合の線量は 0.025mSv で 1 回の撮影よりも小さい値です。(山)

### 日常生活と放射線

放射線を受け量 (ミリシーベルト)

放射線を受け量 (ミリシーベルト)	放射線を受け量 (ミリシーベルト)
約6000mGy 永久不妊(種馬) <sup>*1</sup>	約3000mGy 永久不妊(卵巣) <sup>*1</sup>
約4000mGy 一時脱毛 <sup>*1</sup>	10000
100ミリシーベルト以下 雑びくによる発がんリスクに統計的な差はない	1000
0.5~613.2 大地からの自然放射線(山が-山(山), 山が山(山))	100
2.4 1人当たりの自然放射線(年間) (世界平均)	10
2.1 1人当たりの自然放射線(年間) (日本平均)	1
0.01(年間) クリアランスレベル <sup>*3</sup>	1.0 一般公衆の線量限度(医療は除く)(年間)
0.008 航空機利用	0.06 胸のエックス線集団検診(1回)
0.008 温泉地下環境 0.005	0.05 原子力発電所周辺の線量目標値(年間)
0.47 空気中のラドン <sup>222</sup> から	0.022 再処理工場(六ヶ所村)の線量評価値(年間)
0.99 食物から	0.002~0.01 歯科撮影
0.33 大地から	0.001未満 原子力発電所からの放射性物質放出実績(年間)
0.3 宇宙から	
0.008 航空機利用	

※1 放射線障害については、各部位が均等に吸収線量1ミリグレイのガンマ線を全身に受けた場合、実効線量1ミリシーベルトに相当するものとして表記

※2 空気中に存在する天然の放射性物質

※3 自然界の放射線レベルと比較して十分小さく、安全上放射性物質として扱う必要のない放射線の量

※4 発電所などで働く作業員に対する線量は5年間につき100ミリシーベルト(かつ1年間につき50ミリシーベルト)を超えない

※5 電線放射線障害防止規制等の改正により、緊急時の放射線を取り扱う作業員の緊急作業従事期間中の線量限度を2016年4月より250mSvに引き上げ

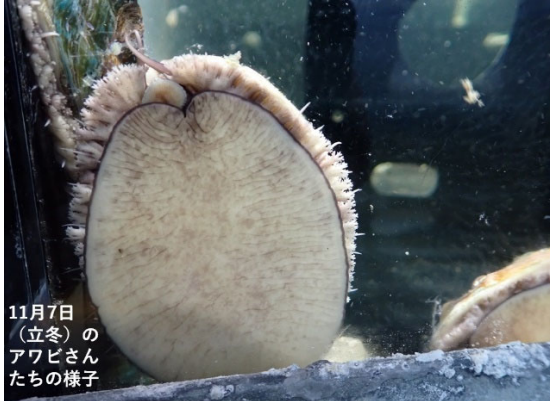
6-2-1

出典：国連科学委員会 (UNSCEAR) 2006年報告書、(公報) 原子力安全研究協会「生活環境放射線 第3巻 (2020年)」、ICRP (Publication103 (2007年)) 他より作成

原子力・エネルギー回覧集



11月7日(立冬)のヒラメさんたちの様子



11月7日(立冬)のアワビさんたちの様子